

## 185 大祭司イエスの祈り(1)

ヨハネによる福音書 17：1～5（イエス、ご自身のための祈りをする）

・・・・・・・・ゲツセマネの園か、その近くで・・・・・・・・

01 イエスはこれら（→ヨハネ 14～16 章）のことを話してから、天を仰いで言われた。

「父よ、**時が来ました。**②**あなたの子があなたの栄光を現すようになるために、**①**子に栄光を与えてください。**

→NIV/NKJV：“Father, the hour has come. ①Glorify your Son, that ②your Son may glorify you.

→①イエスの祈り（願い）と②その祈りの目的

→父と子の関係の祈り

→ヨハネは、十字架につけられる時と死からよみがえる時の両方の出来事において、十全な（完全な、全く欠点のない）栄光を受けるイエスに言及している。

### 【参考】聖書にある「時が来た」「時が来ました」(神の時、イエスの時)

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 7 / 聖句等の総数 33250 <時が来ました>4個<時が来た>4個] (新共同訳) [検索語彙: 時が来ました・時が来た]
S マルコによる福音書	14:41 イエスは三度目に戻って来て言われた。「あなたがたはまだ眠っている。休んでいる。もうこれでいい。時が来た。人の子は罪人たちの手に引き渡される。」
S ヨハネによる福音書	12:23 イエスはこうお答えになった。「人の子が栄光を受ける時が来た。」
S ヨハネによる福音書	13:1 さて、過越祭の前のものである。イエスは、この世から父のもとへ移る御自分の時が来たことを悟り、世にいる弟子たちを愛して、この上なく愛し抜かれた。
S ヨハネによる福音書	17:1 イエスはこれらのことを話してから、天を仰いで言われた。「父よ、時が来ました。あなたの子があなたの栄光を現すようになるために、子に栄光を与えてください。」
S ヨハネの黙示録	11:18 異邦人たちは怒り狂い、／あなたも怒りを現された。死者の裁かれる時が来ました。あなたの僕、預言者、聖なる者、／御名を畏れる者には、／小さな者にも大きな者にも／報いをお与えになり、／地を滅ぼす者どもを／滅ぼされる時が来ました。」
S ヨハネの黙示録	14:7 大声で言った。「神を畏れ、その栄光をたたえなさい。神の裁きの時が来たからである。天と地、海と水の源を創造した方を礼拝しなさい。」
S ヨハネの黙示録	14:15 すると、別の天使が神殿から出て来て、雲の上に座っておられる方に向かって大声で叫んだ。「鎌を入れて、刈り取ってください。刈り入れの時が来ました。地上の穀物は実っています。」

### 【参考】聖書にある「時はまだ来ていません(来ていない、来ていなかった)」

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 5 / 聖句等の総数 33250 ] (新共同訳)
S ヨハネによる福音書	2:4 イエスは母に言われた。「婦人よ、わたしとどんなかわりがあるのです。わたしの時はまだ来ていません。」
S ヨハネによる福音書	7:6 そこで、イエスは言われた。「わたしの時はまだ来ていない。しかし、あなたがたの時はいつも備えられている。」
S ヨハネによる福音書	7:8 あなたがたは祭りに上って行くがよい。わたしはこの祭りには上って行かない。まだ、わたしの時が来ていないからである。」
S ヨハネによる福音書	7:30 人々はイエスを捕らえようとしたが、手をかける者はいなかった。イエスの時はまだ来ていなかったからである。
S ヨハネによる福音書	8:20 イエスは神殿の境内で教えておられたとき、宝物殿の近くでこれらのことを話された。しかし、だれもイエスを捕らえなかった。イエスの時がまだ来ていなかったからである。

02 あなた（→父なる神）は子（→イエス）にすべての人を支配する権能をお与えになりました。そのため、子は（父なる神である）あなたからゆだねられた人（→信者）すべてに、永遠の命を与えることができるのです。

03 永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリスト（を通して得られる神との平和）を（そして親密な個人的関係を）知ることです。

04 わたし（→イエス）は、行うようにとあなた（→父なる神）が与えてくださった業を成し遂げて、地上でああなたの栄光を現しました。

→（リビング・バイブル）わたしはあなたに言われたとおりを成し遂げ、地上でああなたの栄光を現しました。

→イエスは、父なる神が与えた使命を成し遂げた。

05 父よ、今、御前でわたし（→イエス）に栄光を与えてください。世界が造られる前に、わたしがみも  
とで持っていたあの栄光を（与えて下さい）。

→神の子イエスが人間として生まれながら、真の神でもあるのは、初めから神と共に存在したからである（ヨハネ 1：1～3）。

→イエスが栄光を求めた理由は、父の栄光が現れるためである。イエスは、この世における受肉期間中は御自身の栄光を隠された。唯一の例外は、ペトロ、ヤコブ、そしてヨハネが見た、山頂での変貌（イエスの姿が変わる＝マタイ 17：1～13、マルコ 9：2～13、ルカ 9：28～36）だけである。イエスは、父に従順に歩むことで、父の栄光を現わされた。

私たち人間の目的は、イエスがしたように神の栄光（→神の義、神の力、神の愛が証明されること）を現わすことである。

→コリントの信徒への手紙一 10：31

だから、あなたがたは食べるにしろ飲むにしろ、何をするにしても、すべて神の栄光を現すためにしなさい。

→エフェソの信徒への手紙 1：11～14

キリストにおいてわたしたちは、御心のままにすべてのことを行われる方の御計画によって前もって定められ、約束されたものの相続者とされました。それは、以前からキリストに希望を置いていたわたしたちが、神の栄光をたたえるためです。あなたがたもまた、キリストにおいて、真理の言葉、救いをもたらす福音を聞き、そして信じて、約束された聖霊で証印を押されたのです。この聖霊は、わたしたちが御国を受け継ぐための保証であり、こうして、わたしたちは贖われて神のものとなり、神の栄光をたたえることになるのです。

【注意】 ファイル No.191 を開くには、次のパスワード(4桁半角数字)が必要になります。→【7914】